滿州日報

油豆行情（中曆十二月十五日）
青豆價錢　六吊川百七十文至六吊二百文
合豆價錢　五吊六百文至五吊四百五十文
小米價錢　七吊六百文至七吊二百七十文
紅糧價錢　五吊五百文至四百五十文

[illegible]　全　九升入　同五圓[illegible]
赤味噌　全　大樽　同四圓三十錢
札幌麥酒　全　四打入　同九圓八十錢
蜂印香竄葡萄酒　全　同二十二圓五十錢
[illegible]　全　二打半　同二十三圓
筍　[illegible]　同八圓五十錢
梨　四打　同十一圓五十錢
桃　全　同九圓五十錢
人形ミルク　全　同十二圓五十錢
栗　全
お[illegible]
澤鑑
サッポロビール　正味四斗四升入　九圓七十錢
（宅合名會社調査）

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料　一[illegible]銀十五仙乃至十[illegible]　一ヶ月以內　一長期連掲減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

○報價目　每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例　一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議　從減　每張四百文

特別廣告
▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所　橫濱　神戶　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　天津　北京　大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番　支配人室　百八番　事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所
大連市穩岐町三百三十八號　**日華運輸公司**
遼陽　遼陽俱樂部　**谷口今朝太郎**

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

醬油釀造販賣
●樽詰　●瓶詰　●桝賣
御小賣共精々廉價に販賣仕候御進物として至極体裁宜しき特製四合入瓶詰一打箱入も有之候間多少に拘はらず御用被仰付度奉希上候尚御用の節は下名の內何れにても電話にて御申付被下候はゞ直に御屆け可申上候
綏定門街　**東肥洋行**（電話一七號）
二官街　**東來醬園**（電話百二號）

三井洋行
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遐近如蒙各商光顧請駕臨是荷
●精製白砂糖新入荷物あり
倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宮名會社
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣棉絲粗布火柴絲布綢衣帶標布手巾花巾東洋綴子洋襪鍍表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請屢臨爲幸
總司理人　田中賴之助謹白

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船一船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祗做油房事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週通知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北乙第十三號

恒有長
本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價值格外從廉克己幷另設銀爐包營鎔鑄以應急需久爲　中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛
油坊買賣元荳油荳餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙寧鵁船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北乙第四十九號

德商 **瑞生洋行**
啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議
營口西街潮溝西本行主人啓

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　百合花牌（利利）均已馳名內外　星象牌（新進）　櫻花牌（捷利）　雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　蠶特選上等烟料加工精製　諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輸船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡　中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞　本主人啓

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す（取扱主任產婆大道しけ子）
院主　森　矯
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

諸鐵工製作
鑛山機械鐵工　船舶機械鐵工　輕便鐵道附屬鐵工　土木建築用鐵材料　其外鑄物諸般
（營口綏定門街シツブ商會東）　**川喜鐵工場**

西海洋服店
歐米各國最新流行形
永世街一四一（森病院三軒目）

寫眞　永清
奉天府　大南門裡路西

今在天津車站拾得皮包壹個內有洋錢頗沉重如有失主即到營口大德通票號說對其內數目即予領取不悞
喬仲吉謹白

東營口郵便局東隣　**島田洋服店**
新民屯停車場前　**同　支店**

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候　但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一海關手續
一鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號　**大清通運公司　營口支店**

隆慶公司
開設在東關門外自有碼頭恬豐木局以西南近馬路德記木局以北發售唐山大小塊砟子貨美價廉裝御舟車極便凡賜顧者請認明招牌庶不致誤謹啓

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

各種材木
廉價大販賣
塩川商會
營口永世街二本町

和泉洋行
本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡　中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

田中牛莊分莊
啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東洋緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木　荒物　販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

日商 **東來醬園**
本醬園開創在營口双橋子南有年係請大日本著名工師自造日本醬油所造醬物料專選上等麥豆壘經沙漏之水寒熱適度加意製出故其色麗質淨味美氣芳可以供上等烹飪之用其價值甚廉非尋常市油所得而及蓋用市造之油烹物之費多而醬梅之効少若用此油則醬味調和必諸不特于衛生之道受益不少兼爲厚生利用之妙品也賜顧紳商請常試之立知本醬園所言非誇張之談矣　本園主人謹白

代理　道勝銀行
啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商 瑞記洋行代理人謹啓

貸金業
確實なる擔保品には精々勉强安利を以て御相談に應ず
南永世街百二十七號
質屋　**富田茂治**

東京電報

（一月九日特別通信員發）

●牧野氏と專任文相

駐伊公使牧野伸顯氏歸朝の上西園寺侯の兼任を解き文部大臣に任せらるべし

倫敦電報

●伊國とモロツコ會議

伊太利の新聞紙は不相變熱心にモロツコに於ける佛國の權限を支持しモロツコ會議に列席すべき伊國の代表者として「リコンテーデナスター」公爵の任命されしを歡迎せり同公爵は伊佛協商及英伊協商を成立せしめたる人なり

●米國フイリツピン增兵

米國政府は二個聯隊をフイリツピン群島に增遣せり其理由は今や清國が變化の時期にあるを以て同國に於ける米國の利益を保護する必要の場合あらんことを慮り万一に備ふるにあり

●ウィツテ伯とモロツコ議會

ウイツテ伯は或る人に會見し語つて曰く獨乙皇帝ウイルヘルム陛下がモロツコ會議に於て進取的態度を取るべしとの報道は根據なきものなるを確信す思ふに獨乙國は全然平和的政策を遂行し會議は何なく結了すべしと

（以上一月八日發）

雜報

●二年兵役と軍費

二年兵役論は今回大戰に依り實行に適する事を確められたる由なるが今騎砲工輜重等各特別隊を除外し步兵のみを二年役に短縮するときは大約經常陸軍費の四分の一を減じ二十箇師團に擴張さるゝ場合には二千萬圓內外の經費を節減するの結果を見る可しと云ふ

●露國の選擧法

普通選擧の主張益々激甚なるより露國政府は民意を和らげんとの趣意より左の資格あるものは選擧有權者と認むと公示せり

（一）三級以上に屬する借家料を仕拂ひ得る者
（二）二級以上の商業税を仕拂ひ得る商人
（三）政府認可の高等學校卒業證を有する者
（四）一千二百留以上の俸給を得る官吏
但し都府以外の地方にては九百留以上の俸給を得る官吏も有權者たり
（五）二万五千人以上の人口ある都府にして一千留以上の不動產を有する者二萬五千以下の人口ある地方にては三百留以上の不動產を有する者

又た帝國議會の議員數は六百人と規定せられたり

●新艦進水式

先頃進水したる裝甲巡洋艦筑波の姉妹艦たる生駒（一萬三千餘噸）は本年二三月頃進水すべく又た目下橫須賀に於て建造中の戰鬪艦薩摩（一萬九千餘噸）は本年九月頃進水すべくその他驅逐艦夕立、疾風、時雨、白露、朝霧、白雪、松風、追風、夕凪、三日月、野分、響、白妙、初春、初雪、卯月、水無月、長月、菊月の諸艦は四五月頃までに全部進水の運びとなるべしと

●清酒官營の有望

大藏省が兵庫、福岡、愛知、廣島等各釀造地に就て清酒專賣に關する製產費其他の調查を爲したるは事實なるが其槪算を漏れ聞くに現在の清酒釀造高は大約四百萬石にして其價は大約一億六千萬圓なり而して政府に納むる所は七千万圓內外にして酒造家は常に重税の爲めに破產に瀕する者多く若し政府事業として之を行ふ時は大資本計畫の結果として二三割の經費を減少し且税率を引上げ一億圓以上の歲入を得る見込ありと云へば今期議會は兎も角後日財政上の一問題たる可きは疑ひなし

●事務局獨立の議

現制度に依れば議員の事務局は書記官長以下各職員は政府の官吏にして議長の指揮に依り其事務を處理するものなるを以て政府議會間に衝突の生じたる場合に於て書記官長以下職員の之れが措置に窮するが如き場合なきにあらさるを以て彼の英國に於ける制度即ち議院の書記官長は內閣總理大臣の奏請に依て　天皇之を勅任され其黜陟任免は院議を以て上奏の上之を決するが如き制度を參酌し該事務局の獨立を謀るべしとの議代議士間に行はれつゝありと云ふ

●筑波の武裝

過日進水の筑波は直に造兵部沖に廻航し艤裝に着手する筈なるが其完成には約六ケ月を要する由其武裝は從來の巡洋艦は勿論戰艦にも比類なく前後甲板露砲塔の十二吋砲主砲四門を初め八吋砲四門、六吋砲十二門、速射砲小口徑砲を合せ六十餘門、水雷發射管前後左右四門ありと又艦躰の特長とすべきは製艦上の進步により衝突の用意たる艦首水中の衝角なく艦首の商船の如くなる一事なり因に本艦落成の上は當吳港の所屬となる筈なり

●ネボカトフ提督の辯解

カピストキー提督と號して道を哥倫母に取りしネボカトフ提督はビーチー會社汽船インヂャにて十一月四日馬耳塞に着したり提督はスシーヌを十一月四日維納に向け出發すべし提督は壞血病に罹り旅行中は何人にも面談せず飲食と就眠とのみに日を送り居たりと云ふ最初は一切面會を謝絕したるが後終に之を諾し彼の提督の官職剝奪の原因を爲せる五月二十七日の降伏一條に付ては辯解する處あり則ち部下の將校下士卒には一の非難すべき點なく唯自己が人道を重んじ無益の犧牲を避けたる旨を陳辯したりと

●英國實業界の日本熱

英國倫敦に於ては近來東洋貿易を標榜せる諸種の會社勃興せるが此程も日本及東洋會社なるもの設立せられ社債百萬磅を募集せるが同社の目的は日本が戰後經營に巨額の外資を輸入すべきを當て込み日本及東洋諸國に資金を供給せんとするにありと

●戰歿露國海軍士官

日露戰爭に於て落命したる露國海軍士官の數及其主なるもの次の如し

マカロフ（中將）、モノラス（少將）、ウヰトゲフト（少將）、ミクルーヘ（大佐）、外十名、中佐廿六名、大尉七十六名、少尉七十七名、海軍專科大佐ベルセーチフ以下大技士機關官五六等醫官八十三名、蹤跡不明者ルーベツ（大尉）、病死者フオン、フエルケールザム（少將）、ステーウエン（中佐）、ボステリニコフ（大尉）外十二名

●大製艦工場の建設

吳海軍工廠にては戰艦安藝、裝甲巡洋艦伊吹等の大艦建造のため筑波の進水したる跡に橫百間餘、長二百間の大製艦工場を建設するの計畫あり大仕掛の機械を裝置して製艦材料の運搬を容易ならしむる由なれは竣功の上は造船術上更に一段の進步を來すなるへし

●陸軍の冗員淘汰

戰爭永續の準備として陸軍士官學校卒業の上目下見習士官勤務中の者約一千二百名あり是れ等は本年二月中少尉に任官すべき筈なるが各師團の復員と共に現役士官中少からさる冗員を生したれば此際停年滿限に近き下士上りの老朽士官中に大淘汰を行ふべく尙佐官以上にも停年滿期に達し戰役中陞進したる復員と共に豫備籍に編入せらるべき者數名ありと云ふ

●軍資金獻納高

大藏省の調査に據れば開戰以來十一月三十日までの全國軍資獻納高は總計二百三十二万六千七百十三圓餘にして既に國庫の納入を終りし金高は二百二十三万四千餘圓又十一月中に於ける全國軍資獻納出願高二万千四百七十二圓餘なりと

●驅逐艦と潛水艇

世界海軍國に於ける既製未製の驅逐艦隻數左の如し

英國	百六十四	佛國	七十二
日本	六十三	獨逸	五十九
露國	五十九	伊國	三十五
米國	二十四		

又潛水艇の隻數は左の如し

佛國	六十二	英國	四十九
露國	二十三	伊國	九
獨逸	八	米國	八
日本	七		

●癈疾の將校

日露役中將校にして戰傷のため癈疾となり執務する能はす將校分限令第二條第一による退役を出願したるもの四十餘名あり尙續出する模樣なりと

●ゴム製造の成効

農科大學にては黏よりゴムを製せんとて種々に苦心しつゝある由は已報したるが今回愈々ドクトル、レーウ博士及本多博士にて此發明を爲し得たるを以て今日まで日本より英國に輸出し同地にてゴムに製せられて輸入逆戾りを爲し居たるも今後日本製ゴムの海外輸出あるに至るべしと

●戰史編纂總長

海軍省にては今度日露戰史の編纂を爲す事と爲り伊集院軍令部次長之が總裁となり小笠原中佐等數名其編纂員を拜命したり

●米國の極東探險

北米合衆國政府は特に海洋探險の爲め建造せられたるアルバトロス號を以て極東海洋の學術的研究を爲す筈にして右委員中にはスタレフホード大學總長エス・ジョルダン氏も加はれりと

●橫濱海陸連絡工事

橫濱港の海陸連絡完成事業は八百五十萬圓を以て來年度より六箇年繼續事業とし起工することに決したるが其費三分の一を橫濱市の負擔とし事業公債を募集する筈なるが機敏なる外國人中には一手引受を申込みたる者ありと

●川村大將歡迎會

我滿洲軍の最右翼軍として峻山嶮岳の間に策動し常に露軍を腦したる鴨綠江軍司令官川村大將は其司令部を卒ひて來營せられたり我軍政長官與倉中佐より官舍に於て雕迎の盛宴を張られたり佳賓としては此武勳赫々たる一行を迎へ一昨八日午后七時して川村大將を始め參謀長內山少將砲兵部長原少將軍醫部長橫井軍醫監經理部長草野一等主計正上田高級副官等十四名あり主人側として與倉長官を始め堀越憲兵大尉鈴木一等軍醫中村一等主計濱村中尉等數名あり陪賓として瀨川領事中村正金支配人同夫人太田領事官補黑澤副税務司蠣山西税關長河合天津郵便局長前田郵便局長及本社松島等あり長官の案內に依り一同大食堂の宴席に就きたるが第三樓金城館の撰り拔き藝妓仲居等數十名は婆娑として座間に幹旋す酒三行與倉長官は起て盃を擧げ川村大將の健康を祝し且つ萬歲を三唱せられたれば一同之に和して萬歲を高唱したり次で寬厚にして威嚴ある川村大將はやをら身を起して曰く本夕は與倉中佐の雕待を受け感謝に堪へず與倉中佐軍政署員及領事館居留民諸君の御健康を祝すと盃を擧げられたり砲煙彈雨の巷に鬼神の如く叱咤奔馳せられたる名將勇士達も當夜は和氣藹然胸襟を披て談笑せられ美姬の侑むる酒に陶然として醉はれたり川村大將は交る〳〵侑むる酒に微醺を帶はれ百万の敵軍にビクともせさる追の勇將も美人の包圍中に陷りては頗る恐縮せられたるものゝ如し『ネー原君蔵陽の晝飯は難有かつたが酒がないので物足らぬ心地じやつたオイ酒を持てと云ひたかつたがマサカ俺が眞先に飲む譯に行かぬからナー今夜は少し位い飮んでもいゝじやろふなど』笑談を持出して滿足の意を示されたり軈て餘興の時間となりければ一同別室の餘興塲へ到る一番目源之助のお染久松野崎村の段は滿塲に感動を與へ間にはハンケチにて眼を抑へたる美人もありき二番目梅の春は第三樓新來の五郎十郎と申す可愛げな娘の手踊り三番目鶴龜は三光梅次と申す新輸入美人の踊り四番目は三郎彌次の乘り合ひ舟誰れやらが風俗壞亂を叫びしは野暮の骨頂孰れも大車輪の働きなれば惡しかろふ筈もなく拍手喝采屢々起れり五番目外記は第三樓の老妓踊りの師匠を七八年もやつて居つたとの噂さある蝶壽裙の舞ひなれば明目張胆延び上つて見物したる髯達もありき棚の三味連却つて踊りに引立てられたる位い老妓の老腕流石はゑらし千秋樂は娘道成寺斯道に於ては中々の巧者と云はれたる第三のゆきふじ二美人の所作事にて鬼をも挫く猛將勇士も覺へずニコ〳〵せられしを見受けぬ第三躍りのみにて金城躍りを見さりしは頗る遺憾の次第なりしも何れ其內拜見するの機あらんを樂ん　待つ餘興塲に於ける川村大將は左顧右眄微笑して滿足を表しその妙所に到るや手を擧げて賞贊せられ生來笑はず怒らざるを以て有名なる內山少將も此夜は珍らしくも破顏一笑せられたり懸て與終り各々十二分の歡を盡して退散せるは午後十一時頃なりき

●旅順開城紀念會

凱旋の途次其戰死將卒の忠魂を弔すべく旅順へ立寄られたる第三軍司令官乃木大將には去る二日旅順開城の當日を機とし盛大なる紀念會を開催せり同會はもと海陸兩軍の發起に係るものにして乃木柴山兩大將以下文武官三百名の出席者あり近來の盛會なりしと報せらる思ふに昨年の今日は漸く旅順の開城を傳へ聞きて久しく拔く可からさりし堅塞を陷れ我征露軍に一段の進程を與へたりしを驩躍して喜びしに今や一年にして凱旋の途次其紀念會を開き併せて戰死將卒の忠魂を弔するに至れる參列將士の感慨以て推測するに餘りありと謂ふべし因に當日の紀念會前後には晴天打續き日暖に風和に例年に無き長閑の日和なりしかば參列の官民呼んで乃木日和とぞ唱へける由通信端に見ゆ

●軍票の騰貴

銀塊の騰貴と銀票の回收とにより軍票漸次騰貴の趨勢を現はしつゝありしが大連歸來者の談によれば既に同地にては本月一日より金票一圓に對し九十六錢の價格を保ち居る由なるが當營口に於ても昨今著しく騰貴し既に九十五錢臺にも上りたるやに聞けり此傾向にて進まば遂に金票との間に左迄の差額を見さるに至るべく軍票萬歲の時代に遠からず來らんとなり

●川村大將一行の出發

鴨綠江軍司令官川村大將一行十四名はいよ〳〵昨午後一時出發凱旋の途に就かれたり大將出發前に於て愛國婦人會瀨川夫人中村夫人長崎夫人高淵夫人井上夫人粕谷夫人等は大將を訪問したるに大將大に悅ばれ親しく引見して種々談話し婦人會の益々盛大ならんことを希望せられたり此日寒風凜烈面を劈くが如く男子さへ二三人の外誰れあつて見送るものなかりし位いなるに婦人連の訪問及見送は一行尤も滿足せられたる處ならん愍て出發の時刻となれは大將及內山少將與倉長官は馬車に同乘せられ他の馬車には原少將橫井軍醫監草野主計正等同乘し憲兵の前衞後驅を以て牛家屯停車塲に向ひ午後二時二十五分發滊車に搭しいよ〳〵歸朝の途に就かれたり圓に大將一行は來る十九日頃東京に凱旋せらるゝ豫定なりと

●六十三聯隊の軍旗祭

牛家屯守備第六十三聯隊は一昨日は其軍隊の精神たる軍旗下賜の當日なりしかは午後五時より嚴肅なる祭典の執行あり石黑大佐以下各將校參列したり當地よりは堀越憲兵長參列せられたり

●滿韓調查員の來營

近時滿韓利源調查の爲め渡來する者日に多きを加へ人をして殆ど應接に忙殺せしむる程なるは氣運の趨向最も喜ぶべしと爲す此に和歌山縣湯棧油釀造組合の久保繁太郞氏亦同組合を代表し數日前來營せるが其調查事項は（一）滿韓地方に於ける日本醬油賣行の調查（二）湯淺醬油販路の擴張（三）滿韓民生活の度合（四）醬油釀造地としての適否（五）大豆及穀類、鹽業、水質等の調查（六）取引契約に關する習慣の調查（七）交通運輸上に關する調查（八）其他商業企畫に對し參考と爲すべき資料調查等なりといふ予輩は其來るの多きを喜ぶと共に其愼重の調査を遂げ其肩書を辱しめざらんことを希望する者也

●谷口布敎使の來營

大連本願寺慰問部主任布敎使谷口常之氏は一昨日來營尙一兩日滯在の筈なりといふ

●河合天津郵便局長の來營

天津郵便局長河合鷺氏は再昨日奉天より來營明十一日歸任の筈

投書かご

▲凱旋軍雕送迎の爲めわざ〳〵大石橋まで赴くは居留民の義務ではあるが實に異常の篤志者と云はねばならぬかゝる篤志者に對しては營口牛家屯間の輕便鐵道賃位いロハにしてもよいと思ふ滊車賃でさへロハではないですか（公共先生）
▲當地に確實なる保證人あり會社又は貿易風の商店に雇はれたい普通學を修め調劑も少しく覺へ居申候（被雇生）
▲電信配達夫を今一二人增して快速に配達して貰ひたい（商店員）

●燒木ツ杭に火

第一市塲內の荒物屋某の妻ハルと云ふは既に相當の年分別盛なるに拘てこの道ばかりは思案の外と見江昨年夏過ぎ亭主が內地へ商品仕入の爲め赴きたる留守中は獨り寢の床淋しくと見江その頃某洋行の店員小野とて目下當地永世街邊に小雜貨を商ふ男と忍び逢ひの結果かお定りの互に手に手を鳥が啼く東の國ならぬ大連邊に駈落と洒落込んだか否やその邊迄は知らぬが兎に角商賣用にかこつけ二人連れ立ち大連へ旅行せしこともありしが、いつしか此事亭主の耳に入り歸營後大悶着が起り終に離緣をなす迄談判が破裂せんとする所を近塲の人も氣の毒に思ひて亭主を說きて元の鞘に納め其後は何事もなく過ごせしが根が水性のおハル兎角雨につけ風につけ仇男の事のみ思ひ過ごし居りし矢先風邪の氣味にて某病院に通ひ居る內前記小野も病氣にて日々通ひ居るといつしか病院の門口に出逢ひ燒木ツ杭に火の付例ひ、ましてや日頃ハルの胸に思の絕えざる男とて又もや彼の小野と密會して不義の行爲に耽り居るのみか外りしとはドコ迄いたづらな女か知れす可愛相なは何事も知らぬ亭主殿なり

●川村大將雕迎席上にて

鴨綠江軍々醫部員小山田醫學士作

(1)
雨しと〳〵なまめかし
絃の音きこゆ春の巷
相々傘に燃ゆる思を交はしつゝ

(2)
雨はら〳〵物さびし
木の葉散りしく秋の山路
ひとり馬の上胸の悶をさへつゝ

汽車 發行

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝帮子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上一、八〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇
金州	着	一〇、〇九 發 一一、二九

上り列車

驛名	發着	時刻
遼陽	着午後	三、五〇 發 四、五五
大石橋	着	一〇、三二 發 一一、三五
金州	着翌前	二、二〇 發 三、一〇
大連	着	五、三二

營口線下り列車

驛名	發着	時刻
旅順	發午後	二、〇三
大連	着	五、三二
大石橋	發午前	一、〇〇

天氣

營口地方 自昨日午後六時 至本日午後六時 [illegible]晴し

雜報

●東清鐵道談（田邊工學博士談）

東清鐵道は露國に於てこそ歐亞大通路の幹線として經營したれとも一旦我邦の所有に歸したる以上は全く方針を一變して滿洲開發及ひ撫順其他炭山の用に資する鐵道とせさるへからす是れ大連の設計其他滿洲現在の四圍の事情に照して最も適當なる處置と謂ふへし次に長春停車場は日露共用の途に出てす鐵道分割點以南に於て我邦專有の獨立停車場を作るを得策とすへく又撫順炭を營口に輸出するは其運賃に於て之を大連輸出に比し凡そ一噸に付一圓以上を利すれとも營口に於ける積卸費は大連よりも多額を要するのみならす冬期結氷の虞あるを以て寧ろ大連へ輸出する勢を生するに至るへし而して東清鐵道に於ける最も必要なる問題は即ち停車場の設備問題なりとす素と滿洲に於ける停車場敷地は小なるもの尚十萬坪を有し大なるものに至りては百萬坪乃至二百萬坪を有するか故に各停車場に於て之に屬する町村を建設するとは目下の急務にして之に要する費用は約千万圓乃至千五百万圓となるへきを以て鐵道幅員の變更及ひ車輛準備の費用あらは宜しく之を以て此停車場設備費に充つへきなり幅員變更するも車輛の準備足らされは其効を奏せす車輛の準備足るも停車場の設備充分ならされは其効を成し難し故に滿洲に於ける車輛準備潤澤となりし時に於て其幅員を變更するも未た遲からさるへし其變更は兩三日にて足るへし目下の最も緊急事は實に停車場設備にありとす此鐵道の幅員は素と露本國の鐵道と同しく共に五呎なりしもの我邦に歸して多少其幅員を狹軌にしたりと雖も之れか復舊のとは蓋し今日の急務にあらさるへしソハ兎も角東清鐵道一度我國に歸したる以上は今後露國に於て歐亞聯絡の機關として一に浦汐線を用ゆる事となるへけれは我國は此機を逸せす浦汐以南即ち日本海の航海に全力を盡くし歐亞通路の一部たる海上の權力は之を我國に收むるの準備を怠るへからさるなり

●滿洲の味噌醬油製造所

滿洲軍の各部隊とも生味噌の供給頗る潤澤なる上に近來に至り生醬油をも給與せられつゝあるか遼陽西門筋にて二棟の大なる支那家屋を利用し大仕掛に味噌、醬油とを製造し陣中味噌陣中醬油の名稱を附して輕便レールにより日々各方面に多量の輸送をなしつゝありと尙聞く處によれは同部第一工場にては味噌を製造し昨年一月我軍か沙河に對陣し砲煙遼陽を蔽ひし頃既に施設され其原料としては各地にて鹵獲せし大豆、食鹽、小麥等を使用し味噌麴には食用に堪へさる腐敗米を利用して一日三千貫宛製造し之か原料を時價に見積れは一貫目十三錢原料を無代價とすれは一貫目二錢一厘にて昨年一月以來供給高三十五万貫に達せし由、又同部第二場工にては昨年七月より所謂陣中醬油を釀造し今日にては一日十二石宛の醪を造り十三石宛の醬油を出し其製造方法は最も進歩したる速成法により製產費も非常に廉價にして一升七錢五厘原料は戰利品なれは一升に三錢三厘を要するのみにて最早一千石餘の醪を仕込みたり又其他に於て鹵獲大豆にて豆腐を造り腐敗米にて日々九石宛の甘酒用麴を造り之を十餘ヶ所の兵站司令部に送り凱旋軍隊に甘酒を供給しまた官衙酒保用として麵麭と羊羮まで造り居るといふ陸軍省かその必要に應し玆に滿洲における一大製造業の卒先者となれるは一奇なり因に同釀造部にては技師として縣、木寺の二氏技手として庄野、長岡の二氏孜々其業務に勉勵せりと

●鐵嶺の營業數及種類

本月一日開放されし鐵嶺に於て關東總督府より居住營業を認可されたるもの十二月四日より十五日に至る分四十件にして他に猶出願せるもの數百件に達せる由なるが家屋欠乏の爲め暫時認可は見合せらるゝならんか今鐵嶺軍政署に就き取調たるもの左の如し

雜貨商	四	輕便鐵道敷設貨物輸送	一
官衙用達土木建築請負旅館業雜貨		運搬業雜貨旅館	一
時計料理店	一	旅館料理店	二
雜貨旅館	三	旅館	二
和洋料理	二	雜貨飲食店	三
旅館料理店雜貨	一	寫眞雜貨	一
旅館料理店食料品	一	菓子業	二
雜貨依託品販賣	一	菓子料理店	一
副食物雜貨飲食物	一	雜貨飲食店運搬業	一
飲食店	三	菓子麵類	一
土木建築請負	一	雜貨金物業	一
味噌ゝ油酒	一	飲食店理髮業	一
菓子飲食店	一	商品陳列所	一
寫眞業	一		

●大連支那人職業別

大連在住支那人の職業別左の如し

雜貨商	三八四	酒商	六
吳服商	一	饅頭屋	一五
理髮業	五二	餅屋	五
苦力業	九、一八一	鑛力商	八
裁縫業	一七	木工職	一三
洗濯業	六	大工職	四
麵粉製造業	五	茶水商	七二
麵麭商	六	材木商	一
菓子商	一九	古物商	一
洋鐵業	二	豆油製造業	一
飲食店	一三三	無職業	一七
藥種商	一四	魚商	三
醫業	一	古衣商	九
質屋	五	貸家業	四
豆腐屋	五	湯屋	五
靴工	三	僧侶	一
料理兼旅館	三	阿片商	一〇六
敎員	一	豚肉商	一
藝遊稼人	二	時計修理業	三
屠殺人	八	芝居請負人	二
茶商	二	果物商	五
裝潢及書商	二	野菜商	一九
寫眞屋	二	米商	一

●偶感一二　苦言居士

▲新聞記事に對し不平の出る時は探訪の粗漏なる時に在り、社會の不利益となる時に在り其他に於ては云ふ者の誤り也、若し夫れ自已の交際の爲に或は利益の爲に不平を唱ふ者の如き所謂自已の爲に社界を犧牲に供して憚らさる也

▲不思議と云ふ言葉は道理を以て解し能はさる事柄に使用せらる進取的精神を必要とし積極的政策を必要と爲す營口の如き土地に於ては歷史上の遺物を擔き上げて共同の利益を料らんと試むなどは最も道理を以て解し難き所とす即ち當に不思議の第一に數ふ可きものならすや

▲馬鹿とは主に權利の上に眠る者を指す、營口には老幼男生を問はす毎月一人十錢を徴收する某會あり、而して其事業を觀れは何にもなし斯の如き會に會費を收めて平然たる者は即ち權利の上に眠る者にて所謂馬鹿の組也

▲小人とは道理を以て爭ふ能はす、陰に於て小刀細工を用ひ私憤を晴らさんと試む恰も女の如き者を指すなり營口に於て某代表株闘內に斯の如き者のあるは慨すへき事とす吁吾人の會費は小人衣食の費乎なさけないかな營口の居住や

廣告

●新荷着

有名なる（ゼルマチン）ストーブ
ストーブ界ノ大王
シヤツ、ズボン下、毛皮、帽子、毛皮帽子、防寒服、手袋
防寒用
冬季用窓掛類品々
右は皆歐洲より輸入ノ最良品廉價にて販賣致すべきに付き御縱覽を乞ふ
加藤洋行隣
ウ井ンクラー商會

新到洋貨告白
啓者本行專運歐美各國進口世界有名之日耳曼爐、禦寒必全之洋汗衫、洋褲、手套帽子、毛皮帽子、皮衣、毛布冬日所用窓簾冬貨、無不齊　價値格外從廉如需中外貴官商賜顧者請移玉至元神廟　加藤洋行西側本行賬房面談
批發
榮富洋行

御旅館兼待合所
並に うどん、そば
今般大々的勉強を以て右營業仕候間御乘降の都度御休泊被下度奉希候
牛家屯停車場前
若松家
各位樣

特別室落成披露
座敷は凡て日本式取扱至極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候
金城ホテル旅館部

藝妓仲居　新來披露
今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名件れ參り候間不相變御引立の程奉願上候
但し凡て純粹の江戸つ子
金城館料理部

會席料理
營口警務課前南に入る
三日月

新玉の御慶芽出度申納候
營口　高砂ホテル

此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々
高砂

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔　接待優遇懇切
開放全時＝開業
奉天小西門外大街路北

謹賀新年
今般永世街通平野町筋へ轉居し一層安價に販賣致候間舊に倍し御用命の程奉願上候
書籍、銘茶商　賣藥、雜貨商
博文館營口代理店
大坂屋

雜貨卸商
在元神廟街營口
關東公司雜貨部

御旅館
奉天　小西邊門內路北
茂林館
追テ　滿洲各產物毛皮類ノ求ニ應ズ
家屋宏壯接待優遇

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町
日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町
日本館支店
各位樣

今般秋吉萬作義都合有之解雇致し松田萬吉夫妻をして業務に從事せしめ清潔を旨とし萬事一層注意相加可申候間倍舊御愛顧程奉希候
永世街二八（電話一四六）
三十九年一月
鶴の湯主人敬白

大連東洋ホテル　大連鐵道停車場附
大連東洋ホテル　近民政署前通り兒玉町に在り
大連東洋ホテル　高地に建設しあるを以て大連港灣の山水及大連市街の光景は一望の下にあり　四階建にして而も
大連東洋ホテル　和洋客室の設備あり內外貴賓の宿泊に適す

營口　第壹
慶樂溫泉
清水滾々湧出
永世街一力南側

旅館
營口中央市場前
萬事勉强乘車乘船好位置
東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）

即席和洋料理
東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

北京
扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室淸潔料理鮮新

御旅館
天津
芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理
（電話四十一番）

Yano & Co.
矢野洋行
電話一三七 Telephone No. 137

諸雑貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

銘酒 白鶴

新荷着大安賣
新年儀式用品

雑貨商
營口元神廟街 井門洋行
遼陽西門外 同支店

御菓子製造

○蓬萊豆○青梅○輕燒豆○栗納豆○大縁○松風煎餅○羊羹○朝鮮飴○生干菓子種々

營口永世街乙第二十八號
仁木商店

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

浅田飴 あさだあめ

肺癆痰喘氣急傷風痰癖小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかせ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

特約大販賣 營口永世街 東瀛大藥房

標子木板料木
發賣

營口青堆子
清水寧木局

澤亀
芳醇良好風味高尚なる

並ニ札幌ビール 朝日ビール
政府專賣口付紙卷煙草 朝日 大和
酢 醤油 瓶詰樽詰
菓子 鑵詰色々
洋酒類
取次販賣

釀造發賣元
本店 大阪府堺市九間町
小樽支店 北海道小樽湊町
臺北支店 臺灣臺北街書院
基隆支店 臺灣基隆街石牌
臺南支店 臺灣臺南街下南河
函館出張店 北海道函館區辨天町
遼陽出張店 清國遼陽城内西街
大連出張店 清國大連監部
營口支店 清國牛莊港東營口
宅合名會社

營口西北街
官製口付莨、文房具
和洋酒類
鑵詰、菓子
藥品、雑貨
醤油瓶樽詰
防寒具、安價販賣
卸商
豊生洋行
(電話十三番)

恭賀新年

福

大連揚汽車便 最新着
●清酒 白鶴
●北海道産 玉葱
其他雑貨色々

元神廟街
㊗ 田中洋行

日用品雑貨
軍隊用雑貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
其外種々新荷着精々安價販賣

卸小賣
營口永世街百七十三號第二市場東側
石原商店

SPECIAL LIGHT
(PILSENER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雑貨部

工

營口元神廟前
飯塚工程局材料部

今般弊局土木建築材料品ノ各産地ト特約ヲ結ビ品質ヲ撰ビ廉價ヲ以テ間多少ニ不拘賣御仕引立之程奉希上候殊ニ木材ハ北海道天鹽木材株式會社ト特約ヲ結ビ已ニ滊船ブリマ號ニテ七千余石到着致候間御望ノ寸法ニ製材シ御高需ニ應シ可申上候

木材ノ種類
一北海道産松大角材(種々) 同小角(四寸角長二間モノ) 同寸五分角
長二間モノ) 八分板 四分板 槓樋
唐山灤州産 石灰 石材 敷石 砕石 種々
天津營口産 煉瓦

雑貨
醤油 味噌 清酒
營口西北街
阪神組

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ
遼陽停車場前
池上出張店

御徳用新荷着急告品

○食料鑵詰○
○塩魚干魚鰹節○
○乾物色々○
○亀甲万印醤油○
○赤白味噌○
○菓子類数種○
○銘茶各種○

營口永世街警察署前南へ入
林屋洋行

優等清酒

諸罐詰
雑貨類
菓子類
卸賣

三成組

列車時刻

天津至北京　上 一二、〇〇　下 五、二〇
山海關至北京　上 八、〇〇　下 六、四五
唐山至山海關　上 六、〇〇　下 一、五八
山海關至營口　上 七、〇五　下 四、五五
溝邦子至新民屯　上 三、〇〇　下 六、五七
奉天　午後 二、〇六
若 り 列車
天　午前 一一、〇〇
大連　發 午前 七、三〇
旅順　著 一〇、四九
營口　發 午後 十、二五
大石橋　著 翌前 一二、二〇

豫報
昨日の氣温　最高温度三十二度九　最低温度十七度四

宮門抄

十二日

商部　鑾儀衛　廂黃旗值日　理藩院引見四名　廂白滿二十八名　廂紅滿四十四名　正藍漢二名　順王謝管宴大臣恩　南營泰將曾崇蔭謝恩　善豫續假五日　希朗阿續假十日　桂伯續假十五日

召見軍機　土觀呼圖克圖

上諭恭錄

十二日奉

上諭都察院奏京察屆期據實叅劾一摺掌河南道監察御史崇蔭河南道監察御史崇祿掌四川道監察御史覺羅忠林聲名平常均着勒令休致以肅台綱欽此

上諭前據御史蔡曾源奏叅疆臣徇縱墨吏枉法一摺前經諭令周馥確查茲據查明覆奏安徽巡撫誠勳實無信任徇縱情事着即毋庸置議亳州知州宗能徵任聽民婦出入衙署餽贈請託不知遠嫌並于盜掘坟塚重案諱匿不報有意開脫實屬昏庸謬妄昧理欺心吏目李鎔串通揑飾胆大妄爲均着即行革職永不敘用餘着照所議辦理該部知道欽此

上諭江蘇常鎮通海道員缺着劉若曾補授欽此

上諭兵部尚書着呂海寰調補陸潤庠着補授工部尚書欽此

上諭都察院左都御史着陸寶忠補授欽此

上諭浙江督糧道員缺着崔永安調補浙江杭嘉湖道着衛吉補授欽此

上諭陸元鼎奏舉劾屬員一摺江蘇署銅山縣知縣袁國鈞調補山陽縣知縣胡希林寶山縣知縣金元烺南匯縣知縣李超瓊長洲縣知縣蘇品仁金山縣知縣蔣清瑞署奉賢縣知縣郭重光華亭縣知縣王德庚均着傳旨加獎前阜寧縣知縣劉德元讞獄不慎誣良爲盜署安東縣知縣候補知縣羅先覺疲玩顢頇諱盜不報金壇縣知縣呂慶堂聽斷糊塗公事廢弛□陽縣知縣盧葆楨庸懦無能稟詳不實署奉賢縣知縣試用知縣陳其壽徇庇書差嗜利病民試用通判金殿元素行卑污聲名最劣元和縣訓導汪恒利心太重如臯縣石莊司巡檢王登瀛畏葸不職太倉州七浦司巡檢文濬劣跡多端荊溪縣典史李智植巧滑營私□陽縣典史吳延禧丹陽縣典史項綳祖貪黷斂怨試用巡檢吳祥太任意婪索試用從九品龔光榮行止荒謬均着即行革職太倉直隸州知州謝陶辦事遲緩才難勝任高郵州知州李寧康前經調省回任復仍無振作均着開缺留省查看署丹陽縣知縣候補知縣洪爾振調查學堂辦理不力着摘去頂戴以觀後效餘着照所議辦理該部知道欽此

奏議

戶部奏遵議晉省撥補兩江等處釐金各款無力籌解奏請另行改撥摺

奏爲遵旨議奏恭摺仰祈聖鑒事調署湖南巡撫山西巡撫張奏撥補兩江等處釐金各款晉省無力籌解擬請另行改撥一摺光緒三十一年九月十六日奉硃批戶部議奏欽此欽遵由內閣抄出到部查原奏內稱撥補鄂岸鹽釐山西省裁兵節餉銀一萬兩當稅銀四萬二千兩河東鹽課銀一萬兩又籌補官昌鹽釐加價山西烟酒加稅銀四萬兩減平銀一萬兩各等因查自光緒二十九年後晉省屢奉戶部指撥因款均無著無從措辦歷年以來節經奏請改撥未邀議准而頻年迄未籌解者非敢故分畛域實因抵注爲難今光緒三十一年分又奉指撥苟可騰挪自當竭力籌措無如所指裁兵節餉一款前經奏明作爲練新軍之需近雖裁併綠練各營旗於後遵旨改練常續等軍以所節之餉銀供新軍之用項不敷尚鉅當稅一款除預交作抵外每年僅收銀二萬八千兩已與烟酒加稅盡數湊還俄法英德四國洋款現烟酒稅雖又新加亦經先後奏准還公約賠款及練兵處經費減平一款向係湊解協餉河東鹽課一款亦悉數湊解京協各餉況晉省認攤賠款九十萬兩除有著的款外不敷之數尚須設法應付前次撥欵委屬無憑籌解仍請飭部另行改撥等語臣等伏查山西撥補釐金各款自光緒二十五年由部指撥後迄未報解累據奏咨另請改撥均經臣部議駁在案今復據該省臚陳欵項拮据窮於挹注仍請改撥等因查近來庫欵日絀各省情形略同故於部撥新案欵項率行展轉騰挪總以隨時支應勿誤要需爲斷臣部但握其大綱不敢稍紊以期中外相維共濟時艱況該省撥補釐金各欵乃庚子前按年指撥之舊案若遽以之改撥他省則他省更爲有辭必將紛然紊亂無可著手即以認攤賠欵而論亦豈山西一省爲然當此時事艱難全賴各省督撫悉心擘畫力支危局相應請旨飭下山西巡撫轉飭司道等將前項撥補釐金各欵設法籌解其從前舊欠亦即陸續補解勿得任意延欠終歸貽誤致令他省執以爲辭臣部亦難再爲寬解所有遵議緣由理合恭摺具陳伏乞

皇太后

皇上聖鑒謹奏奉旨依議欽此

中外要聞

●江督回寧　兩江總督周玉帥因滬□會審公堂一案略見了結於十二日下午三點鐘啓程回寧

●留學生定期進學　東京各學堂之清國留學生等已悔前非集議將退學運動一律作罷公舉代表人與學堂磋商擬自陽曆一月十一日（華臘月十七日）爲始一律進學銳意勉勵以副　朝廷倚重之盛意云

●德商要求　昨有德國商人隨同德繙譯至外部要求開採甘肅省玉門縣石油礦意在兩國合辦外部大臣答以俟本部查明該省礦產如何再向貴國知照

●加增廉俸　政務處王大臣議將各省官缺暨增加官員俸銀先由五品以下者酌增其一品至四品之官俟庫欵充裕再定一律加增

●咨查保奏人員　練兵大臣昨電咨各省督撫將該省候補三四品人員查其才具品行優著者先將該員銜名考語咨送本處以備保奏時便於查核等語

●愼重防守　練兵處王大臣議咨各省務將所屬原有砲臺一律修築完固其空曠扼要等處如堪添築□亦應電咨參酌辦理以資防守云云昨已電咨各省矣

●大典停止　聞內廷消悉　皇太后以明年正月初十日皇后千秋禮部應行奏請筵宴禮節□著停止云云

●振興農學　昨政府電飭各省督撫添設農學堂講求種植將來北京設立農部即由各省農學堂內咨送明敏學生來京考取農部官員以符破格需才之例

●籌海陸部添設之款　政務王大臣會議海陸兩部爲當時要務因無的欵遂至遲遲未立昨已電達各省將軍督撫認籌欵項若干兩作速電奏再由政府計算各省共認若干兩每年經費虧短盈餘外另籌京欵若干兩共成鉅欵以期海陸兩部速於添設云云

●電商美約　駐美梁大臣來電外部謂美政府此次禁華人美約條現以決定恐難口舌挽回本大臣以關係甚大未敢擅行簽押仍希大部示知辦法等語聞外部已去電矣

雜報

●添聘名角　鳳鳴茶園近日上座者較少然遇花寶卿有戲則仍濟濟多人同聲贊好聞該園主人特又至滬津添聘頭等坤角想不日又十分熱鬧矣

●俄匪向西刦掠　昨聞北來人云俄之□匪隊其軍帥不能箝制任該等肆虐日前竟於長春府西十里舖地方聚羣數十刦掠車馬行人前數日聞有同義驃局保送貨車與商客等携帶羌帖壹萬七仟元俱被俄匪搜刦去矣事關重大該驃局幷商客等羣赴俄官處鳴狀迄今未有端緒云

●手票缺乏　昨聞市人傳云現下南北商客多需現銀急兌滬上償債奈匯水迭漲殊不合盤乃概用手票買羌帖南去抵償因而市儈等藉此營利暗携手票北去收買羌帖故埠內手票缺乏由七錢四分有奇漲至每元八錢壹分昨日又回跌至七錢七分有奇云

●冰舟生業章程

第一條　茲所定氷舟從本埠到河北及自河北到本埠並營口牛家屯間爲遼河氷上來往者及其所携貨物允用載裝者稱氷舟

第二條　作氷舟生業者必具左開事條稟軍政衙門領許可証於其增減改變亦同

一、舟戶原籍現住地名姓名及年齡

二、氷舟乘下裝卸地點

三、使舟價錢

四、使用舟數及其積載量

第三條　氷舟營業時間定每日午前六點鐘起午后六點鐘爲止

第四條　氷舟及舟戶每兩箇月一回必要受憲兵所行檢察

第五條　作氷舟生業者在生業之間必携所領官發許可票留証

第六條　作氷舟生業者無故不可有拒客乘貨載

第七條　氷舟發到地點及集合地定開於左

第一集合地　原撿疫所附近河沿

第二集合地　太古洋行附近河沿

第三集合地　第三派遣所北部河沿

第四集合地　水路分遣所附近河沿

第八條　作氷舟生業者於氷舟發到地點將官定乘舟客貨裝卸場所及二丈高旗杆設置在晝間各立標燈

第十條　氷舟在軍政署所定標旗立在夜間特要揭立標燈可也

第十一條　設氷舟生業者雖在營口以地面其與營口連接交涉者一概依本規矩經營可也

第十二條　（氷舟生業者依氷舟若欲運出）作氷舟生業者使氷舟將本埠貨物若運到埠外者據馬車營業取締規矩記公費每氷舟一隻稅五角可也

第十三條　倘不據本章程者罰銀壹百圓以內停止其生業

附　則

第十四條　本章程自公布日即時施行

NEWCHWANG, WEDNESDAY, JAN. 10, 1906.

The Hand of Divine Providence (Part XX).

Japan, armed with the right even to kill China, stopped short of exercising that right to the full extent, in willing response to China's overture for peace. Japan's subsequent agreement to conclude peace, truly did annual her right to kill. But, by this annulment, Japan bound herself only to refrain from inflicting further loss. It has impaired, not in the slightest measure, Japan's right to the Peninsula of Liaotung, the forfeit already won in exercise of the power to kill. So, God has approved of the transfer of ownership of the Peninsula to Japan. And Man had formally given it up to her. The erring Man may take by force from one something God has given one. Still, by the mere change of hands, the ownership of the stolen property is not at all affected in God's eyes. By the 'Interference' fraud, Japan had been forced to renounce Liaotung Peninsula that God and Man had given her. However, this robbery of the Peninsula by Cossack and his associates from Japan, its right owner, has not in any sense thereby restored China's right to it.

The Peninsula of Liaotung, then a piece of Japan's property, had been wrested by threats of violence under the transparent disguise of a friendly advice, by the gang of gentlemanly robbers. Japan's signature affixed to the document of its renunciation has not a shadow of intrinsic legal value. Neither has her acceptance of Tls. 30,000,000 as a compensation for the loss of the territory rendered her unquestioned claim on it void. Because the gentlemanly robbers have politely advised the victim, at the point of the muffled pistol to sign his consent upon the deed of transfer of his property, in exchange for a paltry consideration, the divine and human law will none the less recognize the victim for its lawful owner, and nobody else. Such is the only award admissible from the most sound legal analysis of Japan's claim on the Peninsula of Liaotung.

The case of Saghalien differs in the fundamental point with that of Liaotung. The Island was, in the last stage of the late war, taken possession of by Japanese arms, as the Peninsula had been 10 years before, in an equally necessary, holy war. Thanks to the sterling manhood of Mr. Theodore Roosevelt, President of the United States, the progress of the Peace Conference at New Portsmouth was not allowed to be influenced by external pressure, except by the philanthropic solicitude on the President's part, to prevent the disastrous disruption of the negotiations. The northern half of Saghalien has been restored to Russia of Japan's voluntary accord, but not under the slightest compulsion from any outsider. The restoration of half Saghalien has been willingly, and without the least reluctance even, agreed to by a responsible authority. Therefore, Japan's claim to that part of the Island has been rescinded for good. A reluctant consent even, given to an engagement, is legally accepted as valid, for, nevertheless it is a voluntary act. Inasmuch as the reluctance signifies nothing more than a disinclination to give, which attitude of the mind has been potentially set at naught, once a consent is offered for the better or the worse, by a higher faculty—the autonomic will of the responsible authority. The case is still a consent of free choice, for, when the disinclination predominates in the mind, the will as yet retains the option of a refusal. If the nations interested in the 'Interference' perfidy were individual persons, the law would bring the genteel robbers to speedy justice, and the stolen property would be restored to the rightful owner. And the victim would enjoy the full benefit of judicial protection. However, the Christian world comprised by weak and wicked Christians of your type, did allow this outrageous fraud to be practised before its eyes.

Exchange Quotations—Jan. 9, '05.

Japan	Bank T.T.	95 3/8
	" Dem'd	95 1/2
	P'ate 15 d/s.	96 3/4
Shanghai	Bank T.T.	67 1/4
	" Dem'd	67 1/2
	P'ate 15 d/s.	68 1/2
Tientsin	Bank T.T.	108 1/2
	" Dem'd	108
	P'ate 10d/s.	107
London	Bank T.T.	1/11 3/8
	" De'd	1/11 1/2
	Cr. 4 m/s.	2/- 1/8
America	Bank T.T.	47
	" Dem'd	47 1/4
	Cr. 4 m/s.	48 3/4

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號

旅館　第二營口ホテル　河岸通り

料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主　粕屋忠兵衛

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程

旅館　千代田旅館　永世街甲八十七號　店主　高橋さみ

料理　沖の島　永世街十八號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主　麻田久二

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街　店主片山小みつ（電話一四五番）

南洲旅館　御用達商　濱田新之助　南永世街拾九號

旅館　彌生館　永世街百六十七號

料理　やよひ　永世街百六十七號　店主　宮下只七郎

料理　滿月　平野町百八十二號（電話一六二）　店主　青木勝憲

料理　滿洲樓　西北街二百五十二號　店主　直塚勝一

料理　萬梅　豐濟門街第百〇四號　店主　田島彌助

御料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号　元吉田屋跡　店主　和田常松

料理　松迺家　元神廟街　矢野洋行向ひ　店主　山本壽三郎

料理　醉花園　旅館　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

旅館　大和館　永世街六號

料理　第二大和館　永世街百六十六號　店主　前田九一郎

料理　曙館　永世街平野町　營口座向

旅館料理　金城ホテル　永世街百六十六號

第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主　齋藤富次郎

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館　東雲　主任　谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　營口元神廟街

さるそば　第二更科　永世街鶴の湯角

琴三味線處　并に張替附屬品一切　永世街八十五號二本町角　土生香樂堂

和洋御料理　東京一流　かき飯　元神廟街　第二東京館　店主　松田平四郎

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　井上源吉

御料理會席　菊水館　主任　朝枝團搥

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　凱旋亭　色々應御注文　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

御料理會席　玉家　主任　西野治三郎

御料理會席　來々亭　主任　石田清

弊店義開業以來御華客様の御愛顧御引立に預り千萬奉謝候偖て今度遼陽に支店を設け旅館會席御料理相營み可申候間本店同様御負最御引立の程偏に御願ひ申上候先は御禮旁々御披露迄早々

營口元神廟街第四十三号　和洋料理　松月亭

遼陽城内西街百十七号　旅館　和洋料理會席　滿洲ホテル

御客様各位

◎フレノロジー　頭腦を觀察して身の上はんだんをなす

營口豐濟門街廿三號　李俊氏宅の西半町　利生堂

正札特別廉價　雜貨　賣出し

一婦人髪道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一罐詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々

質屋　永世街森病院隣　和清洋行　志田すま

●白米 ●糯白米 ●石炭 ●木炭 ●干魚 ●鹽魚 ●建築用材木 ●洋釘 ●亞鉛板

營口永世街八十號　喜久洋行（電話百五十二番）

御小賣致候間御用の節は電話又は端書にて御通知次第直に持参可仕候也

酒保品　諸雜貨　御商　神崎洋行

營口永世街甲百廿七號警務課前

▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

倉庫業

倉庫位置

郵船會社碼頭ヨリ西二丁余　商船會社碼頭筋向イ　河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸揚ゲ便最適當ナル位置

營口綏京門街（公和客）院内　新玉號倉庫部（電話一五七號）

東洋醫院　竹村旅館ノ側ヨリ河岸ニ通ズル横町ノ中央角（永世街十八号）　午前宅診午后往診入院隨時　山田長

加藤洋行　S K

酒保諸君急告

弊店儀今回酒保品全部相片付け度特別大見切賣致す可く候に付至急御來店の上御相談被下度願上候也

●麒麟正宗
●諸罐詰類
●巻紙、狀袋
●菓子、砂糖

其他諸雜貨一切取揃へ誠實を旨とし精々勉强仕る可く候間多少に拘らす御用命被下度奉願上候

S.KATO & Co.
Chah Tung.
Yingkow, Telephone No. 80.
The principal shop, Japanese Concession, Tientsin.
General Store-keeper & Commission merchant.

銘酒　菊正宗　新着!!

營口明覽半定價にて差上ます

祝新年

雜貨商　加藤洋行（電話八十番）

本店　天津日租界
支店　營口　北京　大阪
出張所　遼陽

爲替相場（一月九日）

日本向　軍票百圓に付金九十圓
上海は　百圓に付六十七兩四錢五分
天津は　百圓に付……

日本品最近物價表　加藤洋行調査

樽物類　正宗	三斗九升入	銀二十圓
菊正宗	四斗四升入	同二十七圓
麒麟正宗		
鮪	四打入	同十三圓
ラツキヨ	五打	同十四圓五十錢
辛子漬	四打	同九圓五十錢
フキ	全	同八圓
鷲ミルク	全	同十八圓
菓子類		加藤洋行 同二十六圓
賣來豆	百斤入	同二十五圓
滋養豆	全	同二十七圓
酒茶樂	百三十斤入	同

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.20 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　四弗八十仙
一ケ年前金　銀九弗六十仙
廣告　二十一字詰一行一回　銀二十仙